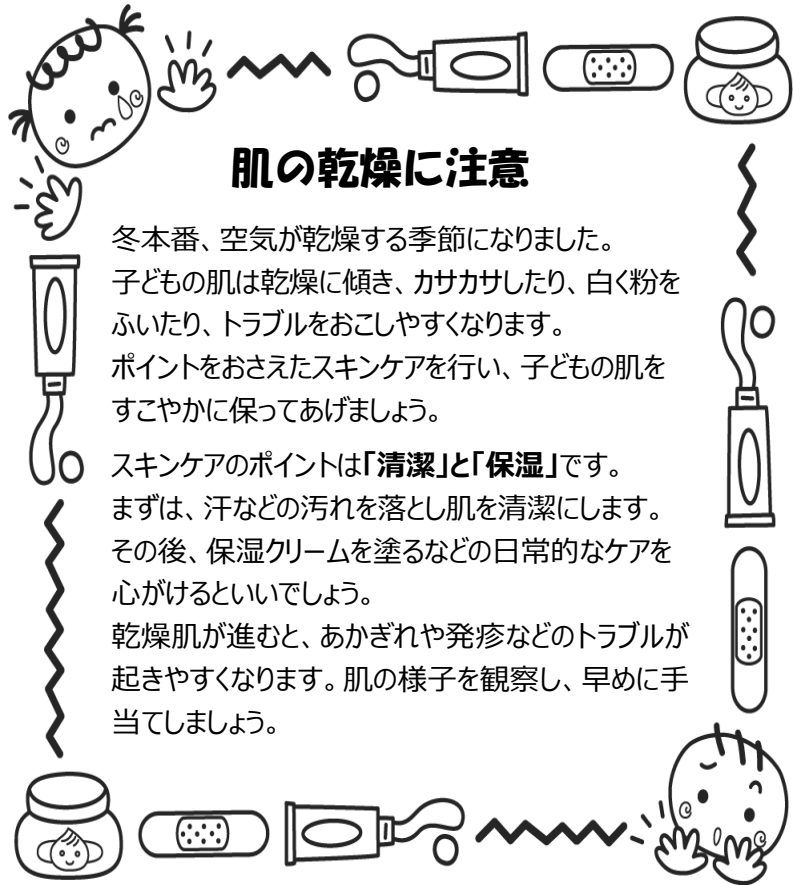




# 2016 2月ほけんだより

あゆのさと  
看護師 石黒治美  
2016.02.01

今年の冬は例年に比べ、暖かくすごしやすい日が多いですが、さすがに2月ともなると冷え込んできます。厳しい寒さの中でも、元気いっぱいな子どもたち。マラソンの練習にも、毎日一生懸命取り組んでいます。寒く乾燥するこの時期は、ウイルスも元気になる季節です。園内でもアデノウイルスやマイコプラズマ、おたふくかぜなどの感染症がみられます。体調がすぐれない時には、早めに休養して様子を見てください。園でも、手洗いやうがいなど子どもたちにより一層声をかけていきます。



## 肌の乾燥に注意

冬本番、空気が乾燥する季節になりました。子どもの肌は乾燥に傾き、カサカサしたり、白く粉をふいたり、トラブルをおこしやすくなります。ポイントをおさえたスキンケアを行い、子どもの肌をすこやかに保ってあげましょう。

スキンケアのポイントは「清潔」と「保湿」です。まずは、汗などの汚れを落とし肌を清潔にします。その後、保湿クリームを塗るなどの日常的なケアを心がけるといいでしょう。

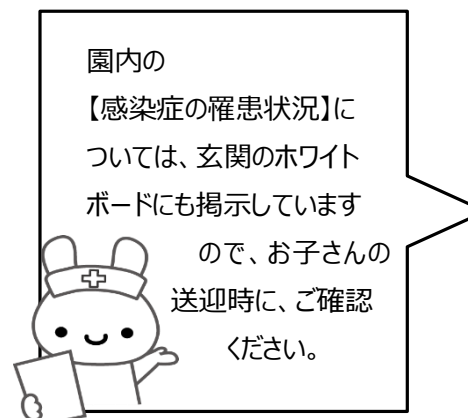
乾燥肌が進むと、あかぎれや発疹などのトラブルが起きやすくなります。肌の様子を観察し、早めに手当てしましょう。

## 花粉症について

まだ冬真っ盛りですが、そろそろ花粉症の季節がやってきます。今年のスギ花粉の飛散量はそれほど多くないようですが、飛散時期は例年より早くもう始まっています。近年、乳幼児の花粉症患者も増えてきています。テレビやインターネットなどの花粉情報を上手に活用して、花粉の季節を乗り越えましょう。

- 症状【鼻】くしゃみ 鼻水 鼻づまり
- 【目】充血 かゆみ
- 【その他】のどのイガイガ感 体のだるさ

のどや耳の奥のかゆみ など



園内の【感染症の罹患状況】については、玄関のホワイトボードにも掲示していますので、お子さんの送迎時に、ご確認ください。

## あれ？感染症かな・・・と思ったら

- (1)登園前に、病院を受診し診察を受け、病名・登園の可否と時期を確認します。
  - (2)園に病名を連絡し、必要な書類を確認します。
  - (3)登園停止の病気の場合は、再受診時に「学校感染症にかかわる証明書」を持参し、医師に記入してもらいます。
- 登園停止ではない感染症の場合は、医師の許可が出たら、「感染症登園届」を保護者が記入します。
- (4)登園は医師の許可が出て、お子さんの体調が整ってからにしてください
  - (5)登園時に職員に書類を渡し、お子さんの様子を伝えてください。
- 登園の目安など、詳しくは入園のしおりの“保健”のページにてご確認ください。

## 感染症の罹患状況 (2016.1.29 現在)

病名	クラス	人数(名)
マイコプラズマ肺炎	ひまわり	1
アデノウイルス感染症	ひまわり	1
	さくら	6
	こすもす	2
	ちゅうりっぷ	1
	たんぽぽ	1
すみれ/たんぽぽ	2	
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	さくら	1
	たんぽぽ	2
R Sウイルス感染症	すみれ/たんぽぽ	3

## 就学前の予防接種

ひまわり組（年長児）のみなさん、

## MR（麻しん・風しん）2期

を、就学前に受けましょう。

例年、3月の駆け込み接種が多いようです。

余裕を持って、早めに済ませましょう。